

2026年 9月11日



筑波観光鉄道株式会社

昭和から令和にかけて筑波山とともに歴史を刻み、72年ぶりに車両更新

「筑波山ケーブルカー」新車両を導入します

筑波観光鉄道(本社:茨城県つくば市、社長:枝村 誠)では、安全で快適な輸送サービスを提供するとともに、インバウンドを含むより多くのお客様にご利用いただきやすい環境を整え、筑波山のさらなる魅力向上を図るため、ケーブルカー新車両を導入いたします。

これまでも客車部分の更新等、部分的な更新は実施してまいりましたが、台車部分を含めた全体の車両更新は1954年(昭和29年)以来、72年ぶりとなります。新車両は、筑波山の豊かな自然や歴史をコンセプトにデザインするとともに、車内の快適性や眺望性を向上させます。



＜新車両イメージ図:紫＞

本件の詳細は次頁の通りです。

「筑波山ケーブルカー」新車両導入について

1. 新車両の運行開始日

2027年2月予定

2. 目的

安全で快適な輸送サービスを提供するとともに、インバウンドを含むより多くのお客様にご利用いただきやすい環境を整え、筑波山のさらなる魅力向上を図るため。

3. 車両概要

(1). 車両デザイン

外装デザインはスイスのキャビンメーカー「CWA 社」が手掛け、欧州風の洗練されたデザインがなされております。また、新車両 2 両にはそれぞれ自然と歴史をコンセプトにした*1「紫」、*2「赤」のカラーリングを施しております。



＜新車両イメージ図：紫＞



＜新車両イメージ図：赤＞

(2). 導入車両

新型ケーブルカー車両 2 両

(3). 車両寸法

【全長】10.7m×【幅】2.7m×【高さ】3.1m

(4). 定員

91 名

(5). 製造

日本ケーブル株式会社

※客車の製造は、スイスのキャビンメーカー「CWA 社」が担当

*1 「紫」：筑波山の別名「紫峰（日光を受けて山肌が紫色に染まる景色）」をモチーフに、地域のシンボルカラーである紫色を採用。筑波山のパワースポットとしての魅力を表現しました。

*2 「赤」：筑波山神社の神橋（しんきょう）と紅葉をモチーフにした赤色を採用。ケーブルカー開業 100 周年を記念するとともに、次の 100 年へとつながる未来への「懸け橋」を表現しました。



＜筑波山 紫峰(しほう)＞



＜筑波山神社 神橋(しんきょう)＞

(6). 主な特徴

- ① 筑波山の雄大な景色をより楽しめるよう、大型ガラスを採用
・車窓からの眺望を広く確保することで、筑波山の自然や景観をより一層楽しんでいただける設計となっております。
- ② 前方の景色を楽しめる座席を新たに先頭部に設置
- ③ 安全性・快適性の向上
・折り畳み収納式の座席を採用し、多客時には座席を収納することで、混雑時における快適性の向上を図っております。
・段差部には足元灯を設置し、視認性を高めることで車両内移動時のつまずきや転倒を防止し、安全性を高めております。
・車内床面には滑りにくい床材を採用し、雨天時や乗降時における足元の安全性を確保しております。
・扉の開口部を現車両の 830mm から 1,000mm へ拡張し、スムーズな乗降を可能とすることで、より快適にご利用いただける環境を実現いたしました。
- ④ 多言語対応のデジタルサイネージを車内 2 箇所に設置
※仕様は変更となる場合がございます。

[新車両イメージ図]



<内装:紫>



<内装:赤>



<座席最前列>



<扉開口部>

4. 筑波山ケーブルカーについて

筑波山ケーブルカーは今年で営業開始から101周年を迎える、国内でも有数の歴史をもつケーブルカーです。筑波鉄道(現在は廃線)の開通によって東京方面から多くの参詣客が筑波山を訪れるようになったことを背景に、筑波山観光の利便性向上を目的として1925年(大正14年)10月12日に営業を開始、太平洋戦争により営業休止を余儀なくされた時期もありましたが、筑波山観光や登山の為の重要な交通手段として、多くのお客様にご利用いただいております。

【歴代車両】



初代



2代目



3代目



4代目



5代目(現行)

【年表】

1923 年	4 月	筑波山鋼索鉄道(株)設立
1925 年	1 月	ケーブルカー営業開始(初代ケーブルカー)
1944 年	2 月	不要不急線として廃止
1954 年	11 月	ケーブルカー営業再開(2代目ケーブルカー)
1964 年	11 月	宮脇駅改装
1971 年	3 月	客車リニューアル(3代目ケーブルカー)
1972 年	11 月	筑波山頂駅改築
1995 年	3 月	車両(客車部分)更新(4代目ケーブルカー)
1999 年	10 月	筑波山鋼索鉄道(株)と筑波山ロープウェイ(株)合併 筑波観光鉄道(株)に社名変更
2002 年	3 月	宮脇駅リニューアル
2005 年	2 月	客車リニューアル (5代目ケーブルカー)
2015 年	3 月	運転制御装置更新(自動化)
2015 年	9 月	大正期の最新技術を駆使し建設されたトンネルや線路などの 設備が評価され「土木学会選奨土木遺産」に選ばれる
2025 年	10 月	ケーブルカー開業 100 周年

※工事期間中ケーブルカーは運休となります。ご利用予定の皆さまへはご不便、ご迷惑をおかけいたしますが何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

なお、筑波山には男体山と女体山の2つの峰があり、男体山側のケーブルカーは運休となりますが、女体山側のロープウェイは営業しております。運休中、筑波山へお越しの際は、ぜひロープウェイをご利用下さいますようお願いいたします。

以上